

JSP



2019年3月期

決算説明会

株式会社JSP

2

経営方針

JSP Corporation
A Global Supplier for Global Society

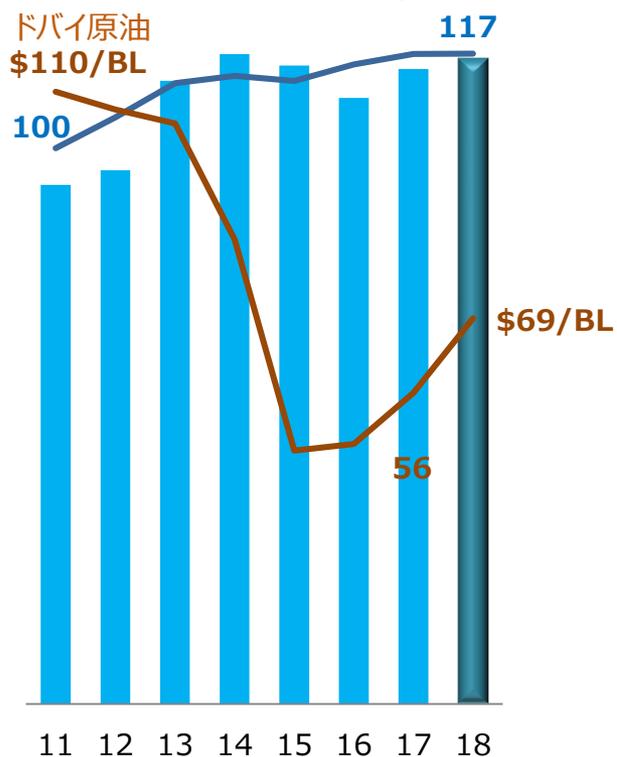
Deliver with
Wow!

1. 2019年3月期決算概要（2018年度）
2. 2020年3月期決算見通し（2019年度見通し）
3. 2019年3月期決算補足（2018年度補足）
4. 新工場、新製品等の紹介

Growth

売上高・販売数量

116,133百万円

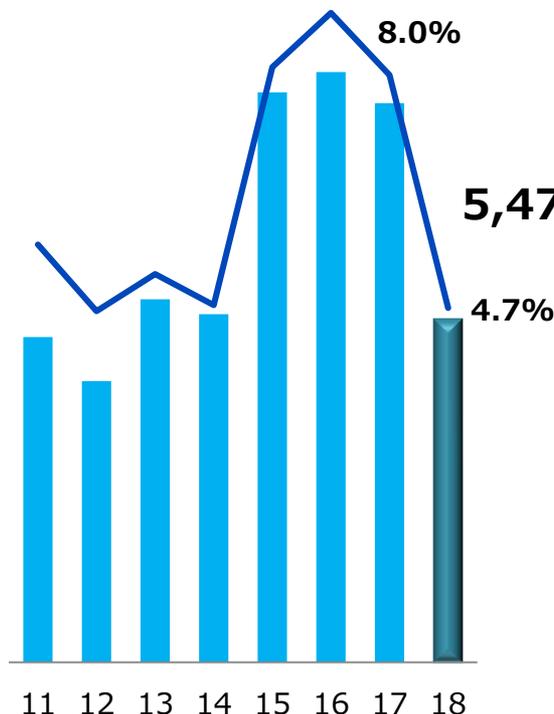


販売数量 2011年 = 100

Margin

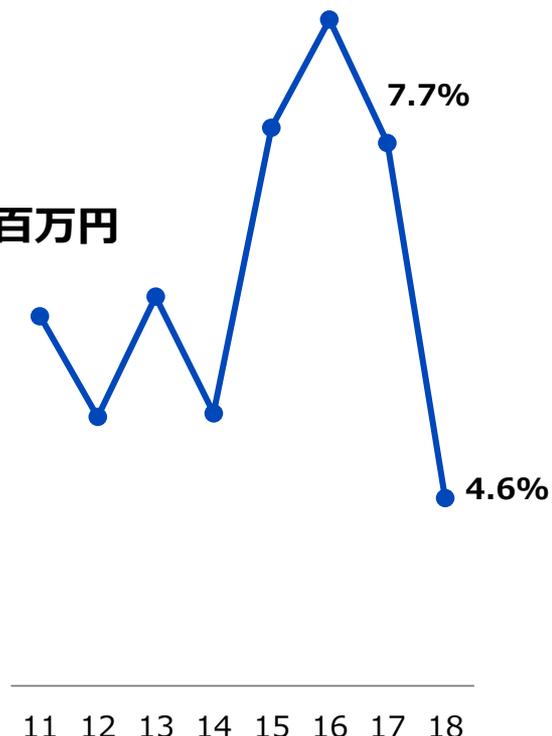
営業利益・営業利益率

5,479百万円



Return

総資産経常利益率



項目 (単位：百万円)	2017年度 実績	2018年度 業績予想 (2019/1/31)	2018年度 実績	前年比	公表比
売上高	114,284	118,100	116,133	+1.6%	△1.7%
営業利益	9,105	7,500	5,479	△39.8%	△26.9%
経常利益	9,217	7,700	5,835	△36.7%	△24.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,853	5,500	4,309	△37.1%	△21.7%

●為替：110.4円/\$ 130.0円/€ 16.6円/元(2017年度 112.0円/\$ 127.2円/€ 16.6円/元)

●原油価格：\$69.4/バーレル（2017年度 \$56.0/バーレル）ドバイ原油価格

●経済状況：米国／設備投資や個人消費の伸びで底堅い成長維持、メキシコ／堅調、ブラジル／回復基調
欧州／景気回復は鈍化、アジア／貿易摩擦の影響、経済成長は鈍化傾向、
日本／自然災害、原燃料・輸送コスト上昇、外需減速の影響により景気は踊り場

●連結業績

売上高：国内は高付加価値品販売増や価格改定により増、海外は前年並み、全体として前年比+1.6%

営業利益：国内の原燃料・運送コスト上昇の価格改定遅れ等で減少、海外は原料コスト上昇、アジアでは販売競争激化、投資増加等の影響により大きく減少、前年比△39.8%

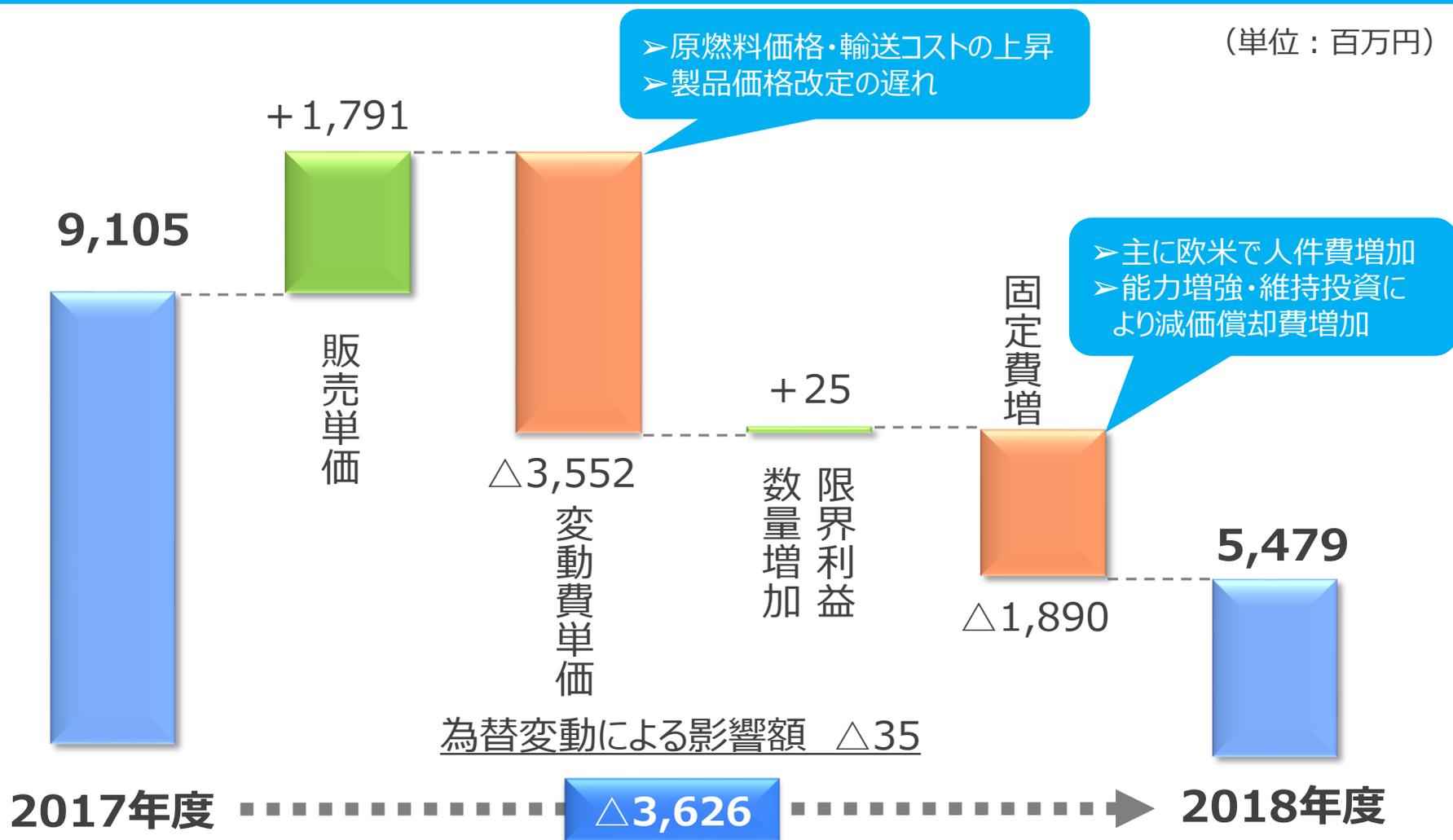
営業利益の増減要因

2018年度

JSP Corporation

A Global Supplier for Global Society

(単位：百万円)



項目 (単位：百万円)	2017年度 実績	2018年度 実績	前年比
売上高	40,245	41,388	+2.8%
営業利益	2,692	2,468	△8.3%

高付加価値製品販売増で売上増、原材料価格・運送費上昇で利益減少

食品包材・容器



「スチレンペーパー」
「ミラボード」

- 食品トレー向け分野や販売広告宣伝用ディスプレイ材の販売は減少
- 製品価格改定などにより売上は増加

産業用包装材



「ミラマット」
「キャプロン」
「Pボード」

- FPD基板や家電向け産業用包材は高付加価値製品の需要拡大などにより売上は増加

住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム」

- 建築分野向けの高断熱製品及び割付断裁品を中心に販売が好調で売上は増加

項目 (単位：百万円)	2017年度 実績	2018年度 実績	前年比
売上高	68,261	68,449	+0.3%
営業利益	7,154	3,782	△47.1%

国内上期の製品価格改定の遅れや海外事業の収益構造改善の遅れにより減益

自動車部品・家電緩衝材・グラウンド基礎材



「ピーブロック」
英名 (ARPRO)
「エレンポールNEO」



- 自動車の新規部品採用拡大や用途拡大により販売増加
- 日本：上期は風水害・地震等により影響あり
- 北米：原料ポリプロピレン価格の高騰
- 欧州：第4四半期に景気停滞
- アジア：韓国の販売停滞、中国は上期販売好調

発泡性ポリスチレン・ハイブリッド成形品



「スチロダイア」
「ヒートポールGR」
「クリアポール」
「スーパーブロー」

- 「スチロダイア」家電分野や機能性製品の販売は堅調、製品価格改定もあり売上増加
- 「スーパーブロー」需要減少により売上減少

項目 (単位：百万円)	2017年度 実績	2018年度 実績	前年比
売上高	5,777	6,295	+9.0%
営業利益	138	156	+13.0%

国内は堅調で売上増、中国は各種部品関連の需要獲得で売上増

国内一般包材

- 自動車関連の梱包材需要増



自動車部品トレー



光学部品緩衝材

中国一般包材

- 新規需要獲得で売上増



I T 家電緩衝材



1. 2019年3月期決算概要（2018年度）
2. 2020年3月期決算見通し（2019年度見通し）
3. 2019年3月期決算補足（2018年度補足）
4. 新工場、新製品等の紹介

項目 (単位：百万円)	2018年度 実績	2019年度 見通し	前年比
売上高	116,133	119,400	+2.8%
営業利益	5,479	7,200	+31.4%
経常利益	5,835	7,400	+26.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,309	5,430	+26.0%

- 為替：110円/\$、125円/€、16.0円/元（2018年 110.4円/\$、130.0円/€、16.6円/元）
- 原油価格：\$65/バーレル（2018年 \$69.4/バーレル）ドバイ原油価格
- 配当：1株当たりの配当金（予想）年間 50円（中間25円、期末25円（予想））
- 増益要因：① 全体として、販売数量が伸びること
 ② 国内においては、スチレンモノマー及びポリスチレン価格の軟化による一部製品の利幅改善
 ③ 海外においては、米国ではポリプロピレン市況のタイト感が弱まったことから価格は下落傾向にあり
 収益改善

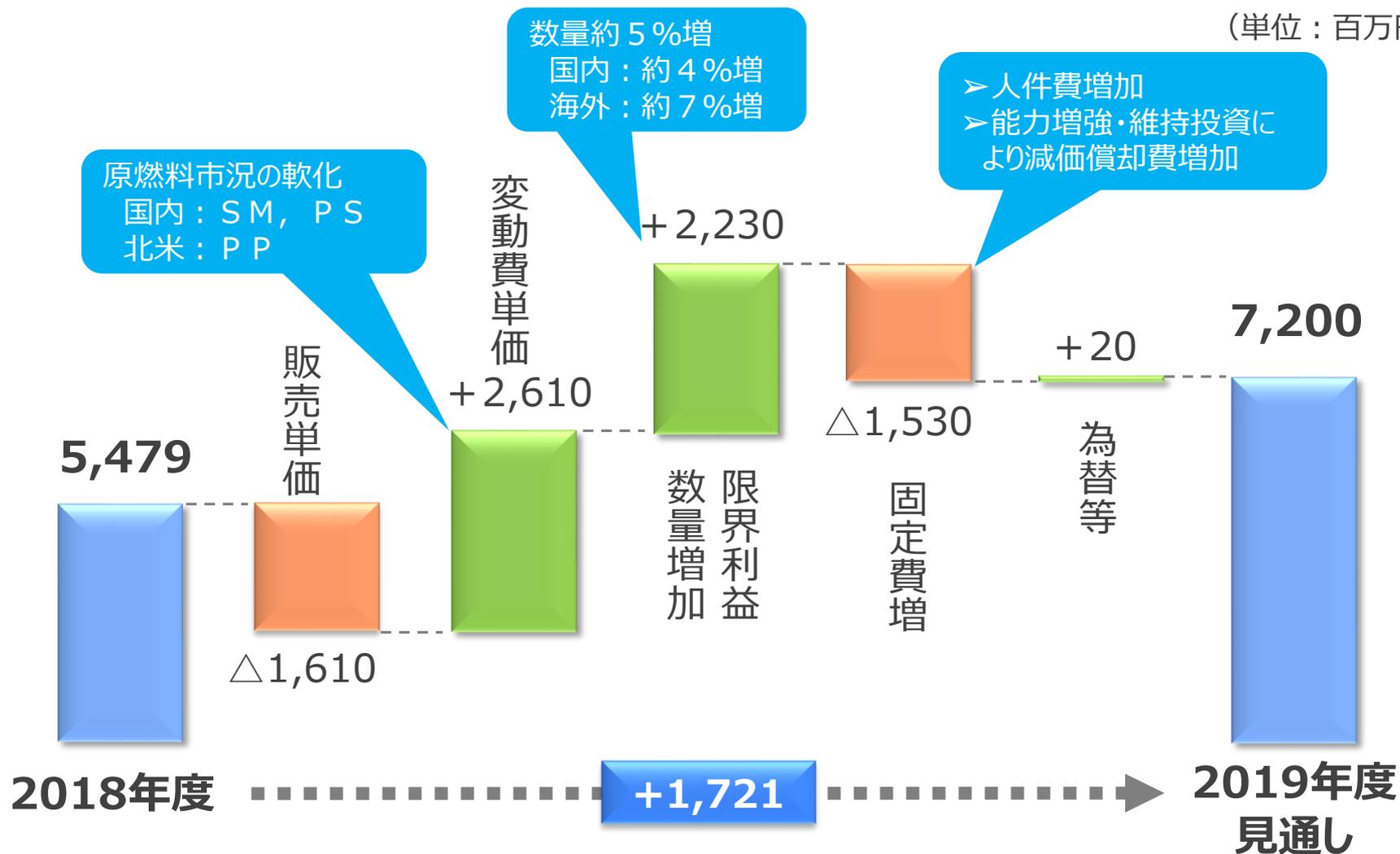
営業利益の増減要因

2019年度見通し

JSP Corporation

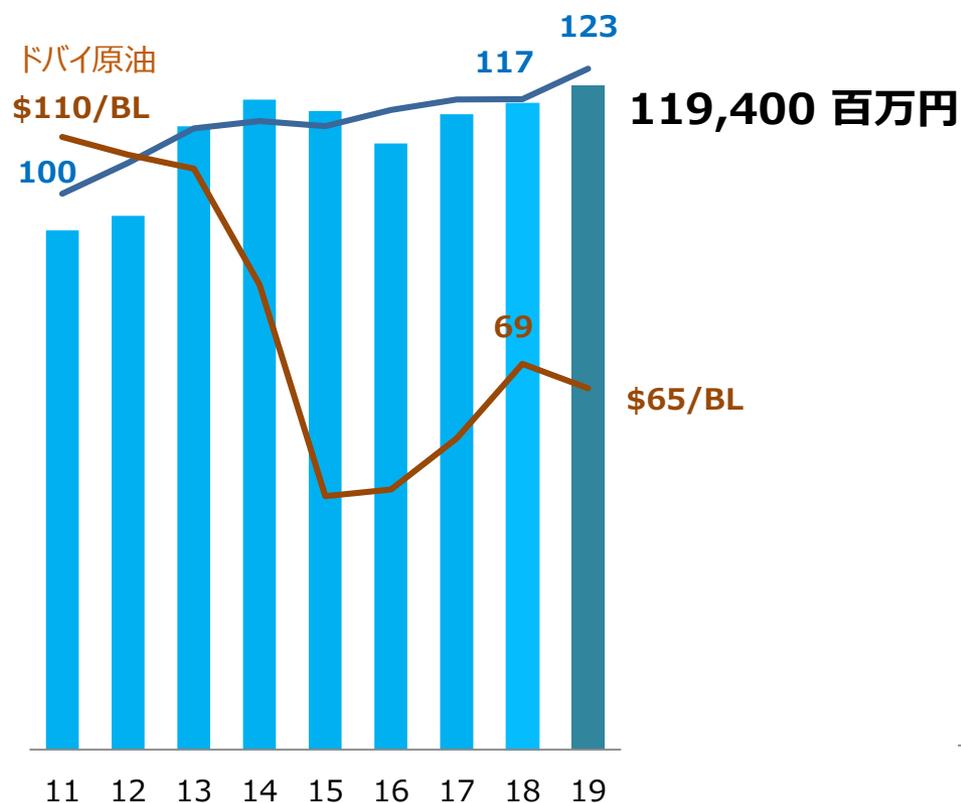
A Global Supplier for Global Society

(単位：百万円)



Growth

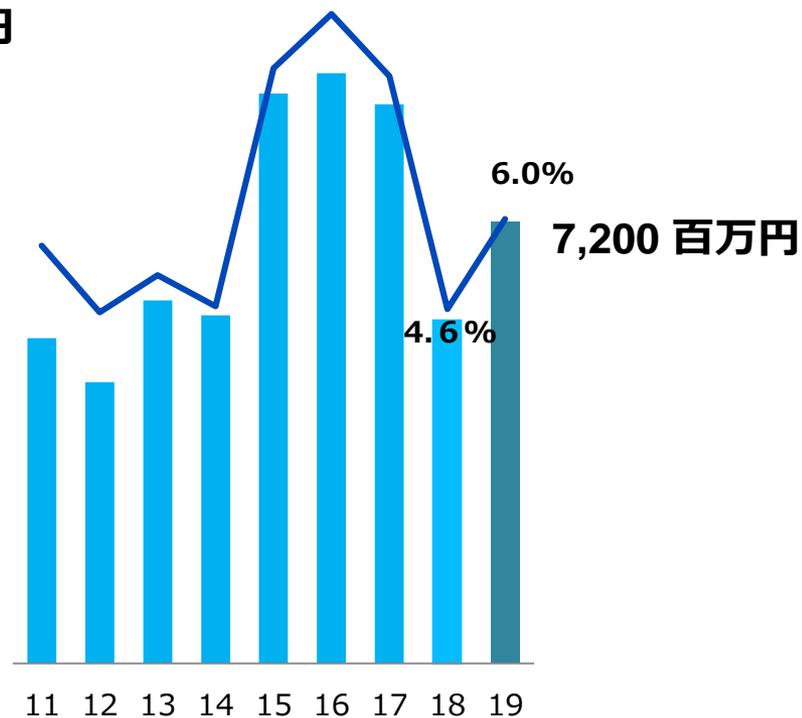
売上高・販売数量



販売数量 2011年 = 100

Margin

営業利益・営業利益率



項目 (単位：百万円)	2018年度 実績	2019年度 見通し	前年比
売上高	41,388	42,560	+2.8%
営業利益	2,468	2,783	+12.8%

既存製品の競争力強化、高付加価値製品の販売に注力

食品包材・容器



「耐熱PSP」 「ミラボード」

- 耐熱食品容器など成長分野へ拡販
- 末端市場への深耕

産業用包装材



「ミラマット」 「キャプロン」 「Pボード」

- 差異化製品による新市場・新用途開拓を進める
- 更なる高精細・高品位化により、海外需要に対応

住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム」 「Jウォールブロック」

- 効率的な製造・供給体制の構築
- 新市場・新用途向け製品の創出
- Jウォールブロックの特色を生かし、EDO工法による拡販

項目 (単位：百万円)	2018年度 実績	2019年度 見通し	前年比
売上高	68,449	70,590	+3.1%
営業利益	3,782	5,270	+39.3%

EPP 市場開拓・用途開発・新製品の迅速な市場投入、EPS 機能性製品の拡販

自動車部品・家電緩衝材・スポーツシューズ



「ピーブロック」 「エレンポールNEO」 「ARGILIX」

- 北米：自動車シート部品の採用拡大
- 中国：IT製品や自動車部品輸送用通い函など新規案件に拡販

発泡性ポリスチレン・ハイブリッド成形品

「スチロダイア」
「ヒートポールGR」
「クリアポール」

- 機能性グレードの拡販と海外展開を強化
- 改良グレードの市場導入により増販

16 セグメント別見通し・設備投資・減価償却

2019年度見通し
 JSP Corporation
 A Global Supplier for Global Society

項目 (単位：百万円)	2018年度実績		2019年度見通し		2018年度差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
押出事業	41,388	2,468	42,560	2,783	+1,172	+315
ビーズ事業	68,449	3,782	70,590	5,270	+2,141	+1,488
その他	6,295	156	6,250	199	△45	+43
調整額	---	△928	---	△ 1,052	---	△124
合計	116,133	5,479	119,400	7,200	+3,267	+1,721

- 設備投資額 12,800百万円
 (増産・競争力強化4,000百万円、維持8,800百万円)
- 減価償却費 6,150百万円
 (2018年度比 549百万円増加)

1. 2019年3月期決算概要（2018年度）
2. 2020年3月期決算見通し（2019年度見通し）
3. 2019年3月期決算補足（2018年度補足）
4. 新工場、新製品等の紹介

(%は表示は対前期増減率)

年度 (単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2018年度	116,133 (+1.6%)	5,479 (△39.8%)	5,835 (△36.7%)	4,309 (△37.1%)
2017年度	114,284 (+4.8%)	9,105 (△5.3%)	9,217 (△8.1%)	6,853 (△6.1%)

包括利益：2018年度 1,711百万円 2017年度 9,171百万円

年度	1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2018年度	144円57銭	5.4%	4.6%	4.7%
2017年度	229円91銭	9.0%	7.7%	8.0%

19 営業外損益・特別損益

2018年度補足

JSP Corporation

A Global Supplier for Global Society

営業外損益

科目 (単位：百万円)	2017年度	2018年度
受取利息	183	209
その他	394	486
営業外収益合計	577	695
支払利息	119	148
為替差損	200	95
その他	146	95
営業外費用合計	466	340

特別損益

科目 (単位：百万円)	2017年度	2018年度
固定資産売却益	403	29
投資有価証券売却益	---	411
特別利益合計	403	440
固定資産売却損	13	6
固定資産除却損	119	143
投資有価証券評価損	---	78
特別損失合計	132	228

年度 (単位：百万円)	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
2018年度末	129,229	84,141	62.1%	2,691円76銭
2017年度末	125,270	84,105	63.5%	2,667円72銭

(参考) 自己資本
 2018年度末 80,239百万円
 2017年度末 79,524百万円

年度 (単位：百万円)	現金及び預金	短期借入金※	長期借入金	借入金合計
2018年度末	14,842	11,419	7,969	19,389
2017年度末	16,963	10,311	5,712	16,024

※1年内返済予定の長期借入金を含む

科目 (単位：百万円)		2017年度末	2018年度末	増減額
資産の部	流動資産	67,157	66,830	△326
	固定資産	58,113	62,399	4,286
資産合計		125,270	129,229	3,959
負債の部	流動負債	33,145	34,344	1,198
	固定負債	8,019	10,744	2,724
	負債合計	41,164	45,088	3,923
純資産の部	株主資本	78,700	81,553	2,853
	その他包括利益累計額	824	△1,313	△2,138
	非支配株主持分	4,581	3,901	△679
	純資産合計	84,105	84,141	35
負債純資産合計		125,270	129,229	3,959

科目 (単位：百万円)		2017年度末	2018年度末	増減額
株主資本	資本金	10,128	10,128	—
	資本剰余金	13,405	13,441	35
	利益剰余金	56,551	59,370	2,819
	自己株式	△1,385	△1,386	△1
	合計	78,700	81,553	2,853
その他の包括 利益累計額	その他有価証券評価差額金	244	233	△11
	為替換算調整勘定	△483	△2,505	△2,022
	退職給付に係る調整累計額	1,062	958	△104
	合計	824	△1,313	△2,138
非支配株主持分		4,581	3,901	△679
純資産合計		84,105	84,141	35

キャッシュフロー 設備投資額・減価償却費・研究開発費

2018年度補足

JSP Corporation

A Global Supplier for Global Society

キャッシュフロー

年度 (単位：百万円)	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金及び現金 同等物の残高
2018年度	7,391	△10,368	1,708	9,082
2017年度	10,849	△7,661	△506	10,807

設備投資額・減価償却費・研究開発費

年度 (単位：百万円)	設備投資額	減価償却費	研究開発費
2018年度	10,896	5,601	2,155
2017年度	8,153	5,072	2,123

(注) 設備投資額はキャッシュベースであります。

1. 2019年3月期決算概要（2018年度）
2. 2020年3月期決算見通し（2019年度見通し）
3. 2019年3月期決算補足（2018年度補足）
4. 新工場、新製品等の紹介

「ミラフォーム」の需要拡大に向けた供給体制の構築



背景

- ZEH・ZEBへの対応を含め、新省エネ基準の適合義務化対象の拡大などで建物の断熱性能の高機能化が求められています。
- 西日本地区における「ミラフォーム」の生産体制の強化を目的に新工場は建設しました。
- 高性能製品「ミラフォームラムダ」の生産を西日本で初めて開始します。
- 予め指定寸法にカットする「大引間割付断熱工法」への生産能力が大幅に強化されます。

関西工場の概要

①所在地	兵庫県たつの市
②品目	ミラフォーム、ポリスチレンペーパー、ミラマット
③床面積	2階建て、24,997m ²

ミラフォーム畳 (衝撃緩和型畳床) “ふわり”



主な特徴

- 歩きやすく、疲労感が少ない硬さです
- 転んでも衝撃が緩和されます
- 優れた断熱効果で足元からの冷えを軽減します
- 衝撃緩和型畳の設置に、2019年6月から始まる「次世代住宅ポイント制度」が適用されます
- 介護保険が活用できます(最大9割給付)

ミラフォーム畳
衝撃緩和型畳(畳床) ふわり™

環境省主催の「プラスチック・スマート」キャンペーンに参加



- 当社グループは、省エネ・省資源など地球エネルギー資源の保護及び地球環境への配慮を基本として、社会・市場からの要求を先取りし、ユーザーから信頼される製品を提供できるよう研究開発活動を進めております。
- プラスチック製品においては以下の内容で、環境問題について取り組んでいます。

持続可能な開発目標（SDGs）



主な取り組み

- 廃プラスチックのマテリアルリサイクル
- 廃プラスチックのサーマルリサイクル
- 再生原料の使用
- 断熱材プレカットによる廃プラスチック削減
- プラスチックビーズの飛散防止

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

株式会社 J S P

お問合せ Tel 03-6212-6306 広報 IR室